



病院の概要

- 病床数 637 床
- 医師数（研修医を除く）136 名（うち指導医数 50 名）
- 研修医数 1 年目 13 名 2 年目 12 名
- 研修医の主な出身大学 秋田大学・旭川医科大学・岩手医科大学・愛媛大学・岡山大学・杏林大学・群馬大学・慶應義塾大学・千葉大学・筑波大学・富山大学・奈良県立医科大学・新潟大学・日本医科大学・浜松医科大学・福島県立医科大学・山形大学・山梨大学
- 診療科 内科 消化器内科 精神科 脳神経内科 循環器内科 小児科 新生児内科 一般・血管外科 消化器外科 呼吸器外科 整形外科 リハビリテーション科 脳神経外科 心臓血管外科 小児外科 皮膚科 形成外科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 歯科口腔外科 放射線診断科 放射線治療科 麻酔科 救急科 病理診断科 緩和ケア科
- 1 日平均外来患者数 939 名 ● 1 日平均入院患者数 472 名
- 主な認定施設 地域周産期母子医療センター、がん診療連携拠点病院、日本内科学会認定教育病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本小児科学会認定小児科専門医研修施設、日本麻酔科学会麻酔指導病院



研修プログラムの特色

当院はさいたま市の基幹病院の 1 つであり、年間約 7,500 台の救急車の受入れを中心に、急性期医療、がん医療、周産期医療、地域連携（病診連携）に力を入れています。研修プログラムはプライマリ・ケアの基本的診療能力（態度、技能、知識）を身に付けることを第一目標とし、さらに各自の到達度と希望に合わせて専門的知識、技術を習得するためのプログラムを柔軟に設けています。1 年次には、内科（26 週）、外科（4 週）、小児科（5 週）、救急（9 週）、麻酔科（4 週）、産婦人科（4 週）をローテーションし、2 年次は各自の希望に合わせた選択期間を中心に地域医療、内科、精神科、救急などをローテーションします。研修医セミナーも毎週開催しており、知識の整理や症例検討を行っています。また、2 年間を通して内科系、外科系の日当直を行うことで、より実践的なトレーニングを積むことができます。



プログラム 例 さいたま市立病院初期臨床研修プログラム（募集定員 12 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目▶	内科						救急		小児科	外 科	麻酔科	産婦人科
2 年目▶	内科	精神科	地域医療	救急	選 択							

○内科：各専門科（循環器、呼吸器、消化器、脳神経、血液・腎臓・内分泌・膠原病）に分かれてローテーションします。

○地域医療：①石川県奥能登の 4 病院（珠洲市総合病院、公立宇出津総合病院、市立輪島病院、公立穴水総合病院）でのへき地医療研修、②近隣診療所（医療法人明医研ハーモニークリニック）での研修、のいずれかの選択となります。

○精神科：埼玉県立精神医療センターで行います。

○外来研修：内科（2 年次）ローテーション中に 1 週、小児科ローテーション中に 1 週、外科ローテーション中に 4/5 週、地域ローテーション中に 6/5 週、それぞれ並行研修で行います。



研修医の処遇

- 給 与 ▶ 1 年目 336,748 円／月、2 年目 354,728 円／月（地域手当を含む）
- 諸 手 当 ▶ 通勤手当、宿日直手当、期末手当
- 保 険 ▶ 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 勤務時間 ▶ 8 時 30 分～17 時 15 分
- 当 直 ▶ あり（4 回／月）
- 休 暇 ▶ 年次有給休暇、夏季休暇等
- 宿 舎 ▶ なし
- そ の 他 ▶ 職員駐車場あり

主な臨床研修協力病院 協力施設



- ・医療法人明医研ハーモニークリニック
- ・埼玉県立精神医療センター
- ・公立宇出津総合病院
- ・珠洲市総合病院
- ・市立輪島病院
- ・公立穴水総合病院



当院の魅力

プライマリ・ケアを学ぶ! 豊富で多彩な症例! 令和元年12月新病院開院! ~地域完結型医療を目指して~

さいたま市立病院は地域完結型医療を目指し、安心して暮らせるさいたま市のシンボルとなる新しい病院として令和元年12月に生まれ変わりました。人口130万人を有するさいたま市の基幹病院である当院では、プライマリ・ケアから各専門領域での高いレベルの医療まで幅広い医療サービスを提供しており、common diseaseから学会発表につながる稀な疾患まで豊富な症例を経験することができます。

内科は消化器、循環器、脳神経、呼吸器、腎内分泌代謝、血液・膠原病リウマチ、感染の各分野をカバーしており、外科は一般・血管外科、消化器外科、小児外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科が高いレベルの手術をしています。地域周産期母子医療センターを設置し、周産期医療、小児医療にも力を入れています。また、安心して安全な医療を提供できるよう医療機能を強化し、精神科身体合併症病棟、緩和ケア病棟などを新設しました。



研修責任者から message



臨床研修管理委員長 /
院長補佐

山藤 和夫

当院の特徴は急性期病院であること、救急医療を重視していること、がん診療拠点病院であること、そして周産期医療を担っていることです。救急は一次と二次救急の患者さんを受け入れており、救急車の受け入れ台数は年間約7,500台です。このような当院の診療内容は、初期臨床研修の目標であるcommon diseaseを多数経験し、primary careにおけるminimal requirementを習得するのにたいへん適しています。当院での2年間の研修により十分な臨床経験を積むことができ、医師としての基本的診療能力、基本的姿勢や態度を身につけることができます。当院は2019年末に病床数637床の新病院が完成し開院しました。最新鋭の医療設備と医療機器が導入され、とくに救急医療の設備が充実しています。さいたま市立病院にはこのように臨床研修に必要な症例、設備、環境が整っています。医学生の皆さん、さいたま市立病院で初期臨床研修をやりませんか。



先輩研修医から message



研修医2年目
平松 みづ紀

私がさいたま市立病院を初期研修病院として選んだ理由は、上級医の先生方の熱心な指導と病院全体のあたたかい雰囲気にあります。

当院には知識・手技・コミュニケーション能力を思う存分学ぶことのできる環境が整っており、切磋琢磨できる仲間が集まっています。そのため、疾患について共有したり疑問に思ったことを相談したりと、お互いを励ましあい刺激あって日々を過ごしています。自分の時間もしっかりと確保されているため、その日の疑問をその日のうちに解決することができ、翌日からの仕事に活かすことができるのも魅力の一つだと思います。

ぜひ一度見学へいらして、病院の雰囲気を感じてみてください。ともに働きたいと思える仲間に出会えます。お待ちしております。



女性医師支援コーナー

- 当院では院内保育室を設置し、0歳から6歳までの乳幼児を対象とした24時間保育を実施しておりますので、小さなお子様のいる方であっても働くことが可能です。
- 年次有給休暇のほかに、出産休暇や小さなお子様のいる職員を対象とした保育時間などの特別休暇も整備されております。



連絡先 **さいたま市立病院**

病院総務課 秋山 泰秀

〒336-8522 **さいたま市緑区三室 2460**

TEL ▶ 048-873-4111 (代表) FAX ▶ 048-873-5451

E-mail ▶ hsp-jimukyoku-somu@city.saitama.lg.jp

URL ▶ <http://saitama-city-hsp.jp/index.html>

アクセス ▶ JR 線北浦和駅からバス 15 分、浦和駅からバス 20 分、東浦和駅からバス 15 分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 春休み、夏休みに病院説明会を開催しているほか、年間を通して個別病院見学を受け付けています。申込方法の詳細は当院ホームページ上に掲載しております。ホームページでは見学に際しての各診療科からのメッセージや研修医の声も掲載しておりますので、そちらも是非ご覧ください。